

TCDドレナージカテーテルセット

再使用禁止

【禁忌・禁止】

使用方法

- ・再使用禁止。
- ・カテーテルの挿入は、骨組織、軟骨組織及び瘢痕組織を避けること。[カテーテル先端を損傷する可能性がある。]

【形状・構造及び原理等】

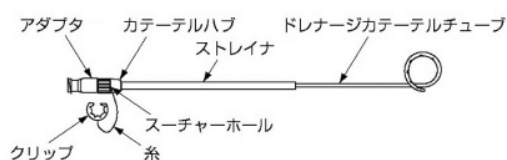
組成

ドレナージカテーテルチューブ：ポリエチレン
 カニユーレ（トロカーニードル）：ステンレススチール
 スタイレット（スタイレットニードル）：ステンレススチール

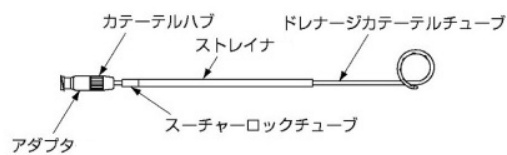
形状

1. カテーテル（ロッキングピグテールまたはノンロッキングピグテールがある。）

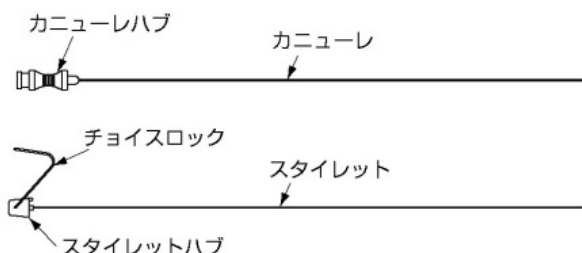
ロッキングピグテールカテーテル



ノンロッキングピグテールカテーテル



2. チョイスロックトロカーニードル



【使用目的又は効果】

本品は、排膿、排液、灌流を目的に経皮的に肝臓、胆嚢、脾臓、胸腔、嚢胞、膿瘍等に挿入して使用するカテーテルである。

【使用方法等】

1. 準備

- (1) 本品の滅菌包装を開封し、無菌的に本品を取り出す。
- (2) 本品に損傷が無いことを確認する。
- (3) 各パーツを生理食塩液で十分にフラッシュする。

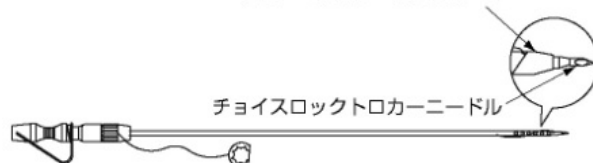
2. カテーテルの挿入方法

<ロッキングピグテールカテーテルの場合>

- (1) 糸を自由に動かせるくらい充分にアダプタのねじが緩んでいることを確認する。
- (2) 指でピグテールを丁寧に伸ばしながら、カテーテルのピグテール部分にストレイナを進め、カテーテルをまっすぐにする。

- (3) 糸を優しく引いてたるみをとった後、糸をロックするためにアダプタを締める。この操作により、チョイスロックトロカーニードルがカテーテルに挿入しやすくなる。
- (4) チョイスロックトロカーニードルをカテーテル内に挿入する。挿入中、カテーテルを傷つけないために、スタイレット先端がカニユーレ先端から出ないように注意すること。
- (5) スタイレットを再度正しい位置にセットする。スタイレットハブがカニユーレハブのくぼみに確実にハマるように注意すること。
- (6) ストレイナを取り外し、チョイスロックトロカーニードル先端がカテーテル先端から出るようにカテーテルをセットする。カテーテルハブにチョイスロックをセットする。

ドレナージカテーテルチューブ

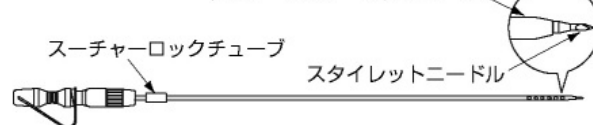


- (7) カテーテルの挿入（ダイレクト法）
 - a. 局所麻酔後、皮膚を切開する。
 - b. 超音波、CT またはX線透視等を用いて、カテーテルを挿入し、目的部位まで進める。
 - c. カテーテルを正しい位置に挿入した後、チョイスロックを外しスタイレットを抜去する。体液が流出すること、または 10mL のシリンジで体液を吸引できることを確認する。
- (8) カテーテル先端が正しい位置にあることを確認したら、カニユーレを動かさずにドレナージカテーテルだけを進め、ピグテール部の全てが確実に目的部位内にあるように配置する。カニユーレを抜去する。
- (9) アダプタを緩め、正しく配置して完全にピグテールを形成するために、カテーテルを時計方向に回しながら糸を優しく引いてたるみを取り、アダプタをきつく締め、糸を固定する。
- (10) 適切な接続チューブを用いて、カテーテルをドレナージバッグ等に接続する。糸を確実に固定するために、アダプタに糸を巻き付け、青いクリップで固定する。

<ノンロッキングピグテールカテーテルの場合>

- (1) 指でピグテールを丁寧に伸ばしながら、カテーテルのピグテール部分にストレイナを進め、カテーテルをまっすぐにする。
- (2) 前述の使用手順〔ロッキングピグテールカテーテルの場合〕(4)～(6)に従いカテーテルをセットする。

ドレナージカテーテルチューブ



- (3) 前述の使用手順〔ロッキングピグテールカテーテルの場合〕(7)に従いカテーテルを挿入する。
- (4) カテーテル先端が正しい位置にあることを確認したら、カニユーレを動かさずにドレナージカテーテルだけを進め、目的部位内でピグテールを形成させ、カニユーレを抜去する。適切な接続チューブを用いてカテーテルをドレナージバッグ等に接続する。

- (5)カテーテルを保護するために、スーチャーロックチューブの上から皮膚にカテーテルを固定する。カテーテルのスーチャーロックチューブ内でカテーテルが滑らないようにカテーテルのその部分が清潔で乾燥していること。

3.カテーテルの抜去

＜ロッキングピッグテールの場合＞

- (1)カテーテルを固定しているテーピング等を外す。
 - (2)カテーテルからクリップを外し、巻き付けた糸をほどく。アダプタを緩める。
 - (3)クリップを引き、カテーテル内の糸のたるみをとる。
 - (4)2本出ている糸のうちどちらか1本のみをスーチャーホール直近で切断する。
 - (5)クリップを引っ張り糸を完全に抜き取った後、カテーテルを抜去する。
- 注) カテーテルを切断しないこと。
注) カテーテルを抜去する際、少しでも抵抗を感じた場合は、エックス線透視下で原因を確認すること。

＜ノンロッキングピッグテールの場合＞

カテーテルから接続チューブを外し、カテーテルを抜去する。

使用方法等に関連する使用上の注意

カテーテルを固定する場合、極力カテーテルを曲げないように配置すること。曲げる必要がある場合は、延長チューブを曲げるように配置すること。

【使用上の注意】

有害事象

重大な有害事象

- ・出血
- ・穿孔
- ・血腫
- ・痛み
- ・感染症等

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

水濡れに注意し、直射日光、高温多湿及び衝撃等を避けて保管すること。

有効期間

製品ラベルに表示。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売元】

スーガン株式会社

【外国製造所】

アメリカ、アルゴンメディカルデバイス社
(Argon Medical Devices, Inc.)

ご使用に際し、ご不明な点などありましたら、発売元までお問い合わせください。

【発売元】



大阪市北区東天満 1 丁目 12 番 10 号 〒530-0044
http://www.sheen-man.co.jp
TEL. (06) 6354-7702 FAX. (06) 6354-7114